

新宮山彦ぐるーぷ第1922回
前鬼の里への古道・牛抱坂(旧前鬼道)の第二次踏査

牛抱峠に標識設置

◇実施日；2017年04月05日(水) 晴のち曇り
◇参加者；梶野照雄。 1名。

3月25日に前鬼の里への古道・牛抱坂(旧前鬼道)の踏査を実施したが、人数が多かったことなどで、思うような行動が出来なかったのと、家で色んな用事を次々と仰せつかり、天候もしばらく悪いようなので、時間の取れたこの日に牛抱峠に標識を付けるべく前鬼を目指した。

前鬼の林道ゲートに車を止めて、すぐ横の休場の尾を登る。休場の尾の先端は林道によってカットされているので、ゲート手前のウリネ谷に架かる橋の脇からか、少し前鬼寄りの急な登りからのいづれかから取り付く。今回、登りは前鬼側から、下りはウリネ谷側へ降りた。



休場の尾登り口



単調な急登



GPSで確認

休場の尾の登りは単調で急登だった。迷いそうな所は無かったが、目印テープを付けておいた。

一時間ほど登って、標高800m付近で幅が1m程のはっきりした道が交差した場所に出た。GPSで確認、ここが牛抱坂(旧前鬼道)の続きだった。見える範囲ではあるが、前鬼側、牛抱峠側もしっかり残っている。



牛抱坂の続き(旧前鬼道がはっきり判る)

牛抱峠側へ歩き出して10分もすると、だんだん道が怪しくなってきた。斜面をトラバースしているのだが、上方からの土砂で道が完全に隠れていて、おまけにケモノ道が縦横に走って、本来の牛抱坂(旧道)が何処なのか判然としない。斜面に靴を蹴り込んで慎重に通過した。

GPSを頼りに牛抱峠を目指すのが、ウリネ谷の支谷を越える所で通過困難な場所にぶつかかった。下流へかなり降りて谷を越し、登り返して牛抱峠を目指す。

標高900mくらいから崩れているところは少なくなつたが、小木や枯れた笹、倒木が増え、ケモノ道も相変わらず多い。鹿の糞があちこちに見られた。

大タワ尾のP998mの南側の鞍部・牛抱峠(標高960m)に到着。標識を設置して昼食を摂る。食後、周りの枯れた笹や小枝を切って、少し開けた場所を作った。



牛抱峠に標識設置



牛抱峠を刈り広げ



帰りは3月25日に通った尾根道を辿ろうとして歩き始めたが、すぐに獣除けネットが現れた。GPSを見ると南に延びている。方向は全く違うが、時間もまだ充分あるのでしばらくネット沿いに登ってみた。

10分ほど登ると雄鹿の骨があった、ネットに角が絡んで動けなくなったと思われる、毛も残っていたので最近の物だと思ふ。胴体部分は動物に食べられたのか、付近には見当たらなかった。

このネット沿いには古いワイヤーロープが多数残されていた。雲がかかっていたが、大日岳、釈迦ヶ岳、孔雀岳、仏生嶽の全てが一望できた。

ネット沿いを下って3月25日に通ったルートに復帰し休場の尾を目指す。このルートはネット沿いなので確実だ。

休場の尾(標高900m)に到着、ここは広くなっていて下りの尾根も見通しが良く判り易い場所である。



ネット沿いを南へ



ここから林道まで約1kmを滑り落ちないようにゆっくりと下り、林道迄50分かかった。自分自身が登りに付けたテープだが、見つけると安心するのは不思議なことだと思ふ。
2度目の踏査で、牛抱坂(古道)のおよそ三分の二が判った。次回は残り三分の一を明らかにしたい。



釈迦ヶ岳稜線が一望



休場の尾を下る



林道に到着

行動タイム

前鬼林道ゲート09:15→10:25旧前鬼道と交差→12:30牛抱峠
13:20→南側フェンス沿い14:00→14:55休場の尾(標高900m)→
15:50前鬼林道ゲート。(記:梶野)

